

心に残る文化財子ども塾 出雲市立湖陵小学校

1. 活動の概要

6月1日(金)、出雲市立湖陵小学校で、『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに埋蔵文化財調査センターの職員から、湖陵小学校周辺に遺跡がどれだけあるのか、どんな種類の遺跡や古墳があるのか話を聞きました。遺跡の位置を示した地図や写真パネルを見ながら学習しました。湖陵地域には、縄文時代から古代の集落跡があり、出雲湖陵道路建設に伴って発掘された湖陵地域の遺跡から出土した縄文土器・須恵器や矢じりの現物を見ながら説明を受け、当時の人々の暮らしや土器について学びました。また、周辺の横穴墓から出土した勾玉や管玉など実物を見ながら、使用方法などを学びました。

次に、勾玉について、説明を受けました。松江市玉湯町玉造には玉作遺跡が集中し、弥生時代には出雲市の古志本郷遺跡でも玉を作っていることを聞くと、児童たちは驚いていました。

続けて、勾玉の作り方の説明を受けて、勾玉作りに挑戦しました。作業は思ったより難しく、思うような形に整えるのに児童達は苦勞していました。予定の終了時間が迫る中、苦心しながら勾玉の形に整え、表面を磨きました。最後まで熱心に勾玉作りに取り組むことができました。

最後に、勾玉作りの難しさを実感しながら、友達と一緒に体験ができた喜びを噛みしめていました。

授業を終えた児童たちは、ふるさとの歴史や身近にある遺跡への興味が高まった様子でした。

2. 活動の様子

1)古代の土器について学ぶ



古代の人はこんな土器を使っていた!!

2)土器を見学する



出土品を実際に持ってみました!

3)古代体験活動～勾玉作り～



大きさはこれくらいかな?



削ったり、磨いたり、なかなか思った形にならないな。

3. 子ども塾を終えて

1)子ども達から…

- ・家の近所に遺跡がたくさんあることが心に残った。
- ・矢じりが小さく驚いた。
- ・玉にはいろいろな種類があることがわかった。
- ・勾玉づくりは難しく、削る作業は大変だった。
- ・勾玉づくりの細かい作業が大変だった。勾玉がどンドンできていくところがよかった。
- ・友達と協力しながらできてうれしかった。
- ・発掘調査をしたい。
- ・家の近所(湖陵町)の遺跡を見たい。
- ・他の出土品を知りたい。
- ・勾玉以外の玉(切子玉)やもっと固い石で勾玉を作りたい。
- ・矢じり、釣り針、縄文土器、竪穴住居を作りたい。

2)担任の先生から…

- ・湖陵地域の遺跡を知ることができ、児童の興味関心が高まった。
- ・地元で出土したものを見たり、触ったりできるのがよかった。
- ・教科書学習等では遠い場所のことであったが、身近に感じることができた。
- ・学校で事前打ち合わせができ、安心して当日を迎えることができた。

3)埋文センターから

普段の授業では自分たちの住む地域の歴史について知る機会は少ないと思います。今回の出前授業で、住んでいる地域には、遺跡がたくさんあることを知り、地域や歴史に対する興味や意欲が高まった様子が意見発表やアンケート結果から伝わってきました。

また、勾玉作り体験では、勾玉の形に仕上げる作業が難しかったようですが、児童たちは最後まで集中して取り組んでいました。簡単そうに見えてかなり時間がかかる難易度の高い作業でしたが、体験をとおして古代人の技術や苦労などに思いをはせている様子でした。

これからも自分で調べたり大人に聞いたりしながら、自分達の住む地域の歴史に関心や誇りを持ち続けてほしいと思います。